

文献史料調査の成果報告

～絵図と写真を中心に～

鼎さつき（瀬戸内町教育委員会）

はじめに

瀬戸内町には、多くの「近代遺跡」が残されています。ところで、「近代遺跡」とは何かと申しますと、時期区分をもとにしますと、明治より第2次世界大戦終結までに作られた構築物の内、遺跡に認定されたものを指します。この期間に作られた瀬戸内町内の遺跡で、最も多いのが「軍事」に関する遺跡です。今回の報告では、瀬戸内町の軍事遺跡に関する文献史料の中から、日本陸海軍が残した絵図資料と米軍が撮影した写真資料をご紹介します。

1. 文献史料調査とは

文献史料調査とは歴史学で行われる調査方法のひとつです。歴史学における史料とは、「過去に起こった、存在した事象について、筋道を立て把握するのに役立つ材料」のことです。この材料を総じて“歴史史料”といい、文献（文字資料）、図像（絵図、写真）、考古、民俗、聞き取り調査などの資料があります。近・現代においては映像（動画）資料も加わります。

【文献史料調査で利用した機関】

○図書館 等

瀬戸内町立図書館／鹿児島県立奄美図書館／鹿児島県立図書館／国立国会図書館
防衛省防衛研究所資料閲覧室／沖縄県公文書館／米国国立公文書館

○デジタル・アーカイブの活用

国立国会図書館デジタルコレクション／国立公文書館デジタルアーカイブ
アジア歴史資料センター／防衛省防衛研究所資料閲覧室／沖縄戦関係資料閲覧室
沖縄県公文書館／米国国立公文書館／国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」

2. 絵図資料からわかる遺跡

陸・海軍が構築した軍事施設は、国の予算を基に構築した「公共施設」でもあります。そのため、施設を構築するまでに、物価調書、売買交渉、譲渡、登記、地図、設計書、予算書、伺書、決裁書など、膨大な文字記録が残されています。その記録に絵図（設計図や地形図など）が添付されている場合があります。また、戦後の武装解除時に大島方面部隊指揮官（海軍）から米第10軍司令官への報告書に絵図をみることができます。

- ・大島全図（明治23年）
- ・久慈／奄美大島需品支庫風水害復旧工事之図（昭和4年）
- ・久慈／奄美大島需品支庫水溜上家風水害普及工事之図（昭和4年）
- ・皆津崎／大島東岸望楼飯ヒ避煉瓦塀位置図（明治33年）
- ・皆津崎／煉瓦塀切断図（明治33年）
- ・西古見／二十八糎米榴弾砲制式図（明治25年）
- ・西古見／観測用射撃用具（昭和15年）
- ・安脚場（金子崎）／金子手砲台見取図（昭和20年）
- ・安脚場（金子崎）／防備衛所（甲）設計案（昭和16年）
- ・呑之浦／震洋艇装備要領図（昭和19年）

3. 米軍撮影空中写真からわかる遺跡

「空中写真」とは、飛行機に搭載した航空カメラにより地表面を撮影した写真のことです。米軍は1944年より写真偵察機で日本各地の空中写真を撮影しました。その目的は第2次世界大戦中における対日戦の戦略・戦術遂行のためでした。また、戦後は占領政策の一環として、日本各地の空中写真を撮影しました。

奄美大島についても、戦中・戦後と空中写真が撮影されています（安溪・当山 2011）。

古仁屋（1945. 3. 27） 久慈（1946. 4. 19） 西古見（1946. 04. 19） 手安（1945. 05. 09）
瀬相（1945. 04. 29）（1945. 10. 10） など

4. 米軍撮影武装解除時の写真からわかる遺跡

米軍による奄美群島の武装解除は、1945年9月22日、徳之島より開始されました。大島海峡の武装解除は、9月25日より行われ、米陸軍部隊「第10軍」指揮のもと進められました。米軍の武装解除時の写真資料より、海峡内の各施設では武器、弾薬、器材等が海岸に集積され、海中投棄される様子を知ることができます。また、砲台など搬出不可能な構築物は爆破処理されました。

- ・実久砲台／克式15 糎加農 （1945. 10. 6）
- ・実久砲台／砲側庫入口 （1945. 10. 6）
- ・江仁屋離砲台／45口径10年式12 糎高角砲 （1945. 10. 6）
- ・江仁屋離砲台／栈橋 （1945. 10. 6）
- ・西古見砲台／28 糎榴弾砲 （1945. 10. 6）
- ・西古見砲台／28 糎榴弾砲 第2砲座爆破 （1945. 10. 6）
- ・西古見砲台／栈橋 （1945. 10. 6）
- ・古仁屋／古仁屋の海岸 （1946. 5. 5）
- ・須手／海軍水上飛行機の基地 （1946. 5. 5）
- ・瀬相／海軍基地 （1946. 5. 5）

5. 映像資料からわかる遺跡

米国国立公文書館は YouTube に公式チャンネルを開設しています。このチャンネルのプレイリスト「Japanese Airfield Installations (Ryukyus Islands), September 24, 1945」では、主に1945年9月に徳之島、加計呂麻島、奄美大島、喜界島で米軍が実施した武装解除の様子を見ることができます。この19分25秒の動画で、加計呂麻島の海軍基地（瀬相）の様子、設営隊基地（三浦）に集積された震洋艇、航空機用爆弾の集積状況（須手）などを確認することができ、瀬戸内町の武装解除の一端を知る貴重な映像資料です。

- ・1945年9月26日 加計呂麻島 4:14～ 瀬相・海軍基地
- ・1945年9月27日 加計呂麻島 6:21～ 三浦・震洋艇の集積状況
- ・1945年9月28日 奄美大島 8:31～ 須手・航空機用弾薬の集積状況
- ・1945年9月29日 奄美大島 10:40～ 墜落した日本軍飛行機（瑞雲）

※奄美大島の武装解除の動画 URL <https://youtu.be/HkM-0aSx0iM>

【参考文献 など】

- ・安溪遊地・当山昌直『奄美沖縄 環境史資料集成』2011
- ・安溪遊地・当山昌直『奄美戦時下米軍航空写真集』2013
- ・工藤洋三『米軍の写真偵察と日本空襲』2011
- ・浄法寺朝美『日本築城史』1971
- ・陸軍築城部『奄美大島要塞築城史』1943